

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

第73号
— 2025年9月 —

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 辺見 伸一
連絡先 神奈川県青少年課

深 謝

神奈川県青少年指導員連絡協議会 会長 辺見 伸一（横浜地域）



各地域の青少年指導員の皆様方におかれましては、日ごろから青少年の健全育成にご尽力を頂き、誠にありがとうございます。

まずは、青少年指導員として活動して頂ける方々が減少しているとのことをお言葉を色々な場面でお聞きしている中で、多種にわたって地域でイベント等を計画・実行して頂けていることや県主催の行事等に参加して頂いていることに感謝申し上げます。

近年は青少年を取り巻く環境が著しく変化したことにより、私達青少年指導員としての多岐にわたる活動にも少しずつ変化がでてきていることと思いますが、将来を担う青少年が夢や希望を抱いて成長し、いつまでも笑顔が絶えないように少しでもサポートして頂ければと思っております。

なお、今年度は改選期になりますが、次年度以降も引き続き青少年指導員として地域での活動を盛り上げて頂ければと願っています。最後になりますが、皆様方の今後のご健勝とご活躍を祈念して挨拶とさせていただきます。

互いを認め合う広い心を持って

副会長 岸 真介（川崎地域）



青少年の健全育成の推進につきましては、県下指導員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

ウクライナ・ガザ地区の戦争や、一国のリーダーの言動が世界を変えようということ子どもたちにどう説明しようか悩んでいました。しかし最近、思春期の子どもを持つ保護者の方とお話しした際、子どもが興味を持ったという報告を受け、安心しました。不平等で不条理なことが多い世界ですが、互いを認め合う広い心を持って子どもたちと付き合っていきたいと思えます。

いっぱい笑って楽しみましょう

副会長 萩原 正恵（県央地域）



29期青少年指導員活動も1年目があ～っという間に過ぎました。

副会長としての役目が出来たか疑問ですが、周りの皆様に支えられて頑張ってきました。2年目に入り新たな出発です。コロナの声も遠くなりました。油断は禁物ですが、各地区でも子どもたちとのふれあいが多くなると思います。若いエネルギーをいっぱいもらい私自身を磨きたいです。楽しく笑顔で行きましょう！

第56回神奈川県青少年指導員大会のお知らせ

令和7年11月29日（土）13時から、茅ヶ崎市民文化会館にて開催します。

今大会のテーマは、「～楽笑～“楽しく”つなげよう人と人“笑顔”で広げよう地域の輪と和」です。

県内各地域より大勢の青少年指導員の方々が一堂に会する機会となりますので、皆様ぜひとも奮ってご参加くださるようお願いいたします。

第3回 青少年指導員の仲間を増やすための取り組み

○相模原市

青少年指導員を増やすためには、地域ぐるみでの理解と協力が不可欠です。まず、青少年指導委員の活動内容や、やりがいを広く周知することが大切だと考えています。

月1回、役員会を開催して情報交換し、更には研修部会や広報部会など、組織として活動を行っています。

また横のつながりとして、子ども会、鼓笛隊、ボーイスカウト・ガールスカウトなどの団体と連携し、市民祭りを始めとした様々な場面において、共同でイベントを開催し、活動を広く認知していただいています。また、市青少年指導委員連絡協議会広報誌である「はげいとう」を年2～3回発行し、相模原市青少年指導委員連絡協議会のホームページにも掲載しています。詳細は、下記のQRコードをご参照ください。

他にも地域イベントでの活動紹介や、実際の活動の様子を映像やSNSで発信しており、更なる広報活動に力を注いでいます。

今後も青少年の健やかな成長を支える仲間を一人でも多く増やすため、市全域で活動に励んでまいります。

相模原市青少年指導委員連絡協議会HP→



○横須賀市

横須賀市青少年育成推進員

定数見直しに関するアンケート

次期、令和8・9年度改選に向けて、推進員定数の見直しを検討しています。
下記QRまたはURLから、簡単なアンケートにお答えいただき、各中学校区の活動実態をお聞かせください。
(スマートフォン用QR)

欠員しているけど、活動自体は少ない。定数は減らしていいかも？

定数は今のままでも良いけど、とにかく欠員が来たら活動ができない！

学校の行事が多く、とても定数4人ではやっていけない

活動に負担を感じている人も、もう少し定数を減らしても活動に支障はないんじゃないかな？

サンプル

URL: https://shinsei-kana.sakai.jp/qrList_detail?roomId=99163

(問合せ) 横須賀市子育て支援課 (TEL 046-824-5377)

横須賀市では、連合町内会長・連合自治会長等から青少年育成推進員の推薦を頂き、市長から委嘱します。その際は、連合町内会定例会等において推進員制度の概要等をご説明し、推薦をお願いしています。

推進員は全市的な協議会活動のほか、23中学校区で組織している地域連絡会において、地域活動を行っています。

最近では、青少年育成推進員の存在や活動について、より多くの方々に知っていただくため、活動成果の展示場所を工夫しています。昨年度は大型ショッピングセンターでの展示を行い、今年度も小中学校や、警察署内での展示、各町内イベントへの出張展示に向けて調整しています。

また、推進員定数の見直しや、欠員補充の為のアンケートも実施し、活動実態に合わせた定数の設定や公募制度の導入等、様々なアイデアを出し合い、柔軟に検討を進めています。



○平塚市



平塚市は28小学校区、定員合計333名で活動しています。色々な団体がある中でも、青指は地区活動の場面で、なくてはならない存在になっています。その青指は基本的にどの地区も市の依頼により各自治会長、町内会長からの推薦を受け任についています。

① **市青指の取組み事例** 昨今、定員割れをおこしている地域もあります。くいとめる為の取組みとして、まずは何よりも青指活動を広く知ってもらう目的で「広報ひらつか」に3ページにわたり青指メインイベント”子ども大会”を取材、掲載頂きました（※写真参照）。発行部数115,000部、市内全世帯にポスティングしている他、公共施設や平塚駅でも配っています。ぜひ青指に興味を持ち、やってみたい人が出るきっかけになる事を願っています。

② **地区青指の取組み事例** 平塚市28小学校区の中でも常に定員を下回らず、空きが出たら即新任青指になる方が待っている状態の地区があります。

ポイントは、①活動を強制せずに笑顔で楽しむ ②各イベント終了後にお手伝い頂いた方々含めての懇親会を必ずする(ただし費用をかけない) ③(コロナ前は)毎年、地域諸団体、学校(一般職員含む)が一堂に会して懇親会を行っており、色々な立場の人と交流出来る環境になっているのが特に大きいです。活動が無理のない範囲内で笑顔で出来、更に、多くの知らなかった人との交流の場になっているようです。

○松田町

松田町では、青少年指導員の活動や役割をより多くの町民に知ってもらうため、町内に配布される回覧板を活用し、「神奈川県青少年指導員だより つばさ」を回覧しました。町内全域への情報発信により、指導員活動への関心や理解を少しずつ高めていくことを目指しています。

今後も、地域に根ざした地道な取り組みを通じて、仲間づくりを進めていきたいと考えています。



地域活動報告



横浜

旭区こども写生大会

横浜市旭区青少年指導員連絡協議会 会長 湯田 達彦

6月21日(土)、晴天に恵まれたよこはま動物園ズーラシアで、毎年恒例の「旭区こども写生大会」を開催しました。

当日は、園内での呼びかけも行い、277人の方にご参加いただきました。画材を受け取った子どもたちは、園内の動物たちを題材に思い思いの場所で写生を楽しみ、最後に完成した作品と一緒に記念撮影を行いました。

日差しも強く、暑さの厳しい中でも子どもたちの集中力が光る、笑顔あふれる一日となりました。動物たちとのふれあいを通じて、自然への関心も深まるひとときとなりました。



川崎

第40回あさおわくわくウォーク

川崎市麻生区青少年指導員連絡協議会 会長 佐藤 昇平

川崎市麻生区青少年指導員連絡協議会では、青少年の育成活動を推進するイベントとして「あさおわくわくウォーク」を開催しています。

「わくわくウォーク」とは、地形の特徴だけが記載されている『コマ図』を頼りに、チーム一丸となってゴールを目指すウォークラリーです。ゴールまでの時間とコース途中のゲームポイントやサーチポイントで獲得する得点で順位が決まります。

第40回の節目となった昨年は、11月24日(日)に開催され、14チーム・61名が参加しました。各チーム、コマ

図を片手に話し合いながらチーム一丸となって無事ゴールすることができました。参加した子どもたちからは「ネイチャーゲーム(公園での探し物)は、なかなか見つからなかったけど楽しかった!」や「道に迷ったけどチーム全員で頑張ったよ!」等の声があり、指導員にとっても楽しい一日となりました。





こどもたちの笑顔に癒されました

厚木市青少年指導員連絡協議会 広報部会長 久保 勝寿



厚木市青少年指導員連絡協議会では例年5月に「少年少女フェスティバル」を行い、こどもたちにももの作りの楽しさを体験してもらっています。今年は厚木市が市制70周年を迎え、当協議会を含む5つの青少年関係団体で組織する実行委員会を主管として、7月6日(日)に荻野運動公園で市制70周年記念事業『こどもフェスタ2025』を開催しました。

当日は青少年指導員を中心とした市内15地区の青少年関係団体の方々が、それぞれブースを設けてこどもたちを迎えました。紙ブーメランや竹とんぼなどの飛ばして遊ぶもの、造形を楽しむバルーンアート、かざぐるま・やじろべえ・万華

鏡などの昔懐かしいものなど、様々なおもちゃ作りをこどもたちに楽しんでもらいました。

当日の参加者数は約3,500人、それぞれのブースでは200人分の材料を準備していたのですが、午前中で材料が無くなってしまったブースも多く、午後の分の材料確保にも追われていました。大盛況でとても忙しかったのですが、こどもたちの笑顔に癒された一日でした。

地域少年リーダー養成講座「きらめきロビンフッド」 ～テーマは「防災」～



小田原市青少年育成推進員協議会 副会長 永森 俊行

小田原市青少年育成推進員協議会では、小学校5・6年生を対象に地域青少年リーダー育成を目的とした研修を行っています。

令和6年度のテーマは「防災」で3回の研修を行いました。

能登半島地震や南海トラフ地震の危険性を話題にしながら、未来の地域リーダーに必要な自主性や協調性を身につけることを目指し実施しました。

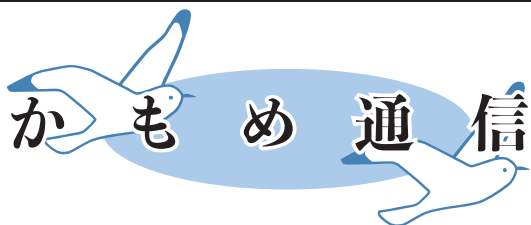
研修は3つのステップに分かれており、ステップ1では防災クロスロードゲームや防災ボトル作り。

ステップ2では、1泊2日で野外炊飯、救急法を学び、ダンボールでベッドやトイレ、パーテーションを作る体験、災害時の配給体験を行いました。

ステップ3では災害時に協力する運動会形式のアクティビティが行われました。

参加者はこれらの活動を通じて防災知識を学び、協力し合うことの大切さを実感しました。今回参加したことで、かけがえのない仲間に出会い、防災に対して多くの学びがあったと思います。





※ 予定は変更になる場合があります

◆横浜市

○Autumn FES in Tsurumi 2025

日 程：令和7年11月9日(日) 11:00～
場 所：鶴見公会堂
主 催：鶴見区青少年指導員協議会
内 容：鶴見区内在住又は在学の中学生・高校生が
出演・運営するダンス発表会を実施します。

◆相模原市

○第42回親子ふれあいの広場

日 程：令和7年10月5日(日) 10:00～15:00
場 所：淵野辺公園
主 催：相模原市、親子ふれあいの広場実行委員会
内 容：親子がレクリエーションを通じて日常では味わえない体験を共有することで、その愛情を深めるとともに、青少年の健全育成に対する理解と自覚を高めるため実施します。青少年指導員による創作コーナー、魚釣りゲーム、バンブーダンス体験などを行います。

◆横須賀市

○わんぱくフェスティバル

日 程：令和7年11月16日(日) 10:00～14:30
(荒天中止)
場 所：県立保健福祉大学(横須賀市平成町)
主 催：わんぱくフェスティバル実行委員会
内 容：子どもたちのダンスや演奏のステージ発表、スタンプラリー、ゲームなどの楽しい遊びが盛りだくさんです。

◆鎌倉市

○子どもキャンプに行こう!

日 程：令和7年10月18日(土)～19日(日)
場 所：神奈川県立愛川ふれあいの村
主 催：鎌倉市青少年指導員連絡協議会
内 容：市内に在住又は在学の小学校4～6年生が対象です!自然とふれあい、沢山の経験と友達を作ろう!

◆藤沢市

○JUMP UP U-20 WINTER CONCERT

日 程：令和7年12月21日(日) 13:00～
場 所：藤沢市民会館大ホール
主 催：藤沢市、藤沢市青少年指導員協議会
内 容：中学生以上20歳以下の青少年たちによる軽音楽の発表の場です。音楽を通して青少年同士が交流を深める機会にもなっています。詳細は右上のQRコードをご参照ください。



◆山北町

○ライブ・イン・山北2025

日 程：令和7年12月14日(日) 13:00～
場 所：山北町立生涯学習センター
主 催：ライブ・イン・山北2025実行委員会、山北町教育委員会、山北町青少年指導員協議会
内 容：足柄上地区の高校の軽音楽部による合同ライブ。各校代表で行う合同バンドによるオープニングとエンディングは注目の演出。入場料無料、どなたでも観覧可。

◆茅ヶ崎市

○青少年指導員まつり

日 程：令和8年2月21日(土)
10:00～13:00(雨天決行)
場 所：茅ヶ崎市役所前広場、市民ふれあいプラザ
主 催：茅ヶ崎市青少年指導員連絡協議会
内 容：小・中学生対象の工作やゲームの体験



機関紙「つばさ」第29期編集委員5名(敬称略)

山崎 直宏(横浜地域) 新井 一成(川崎地域)
齊藤 一城(相模原地域) 相馬 喜昭(湘南地域)
瀬戸 泰一(県西地域/担当事務)

編集後記

つばさ編集委員 相馬 喜昭(湘南地域)

2025年もあつと言う間に半年が過ぎ、時の流れに驚くばかりです。新年度の青指活動はいかがでしょう。今期、当つばさ編集委員会では「青指の仲間を増やすための取組み」をメインテーマに各地の情報を提供しております。ぜひ参考にして頂き、全地域課題の「仲間を増やす事」に繋がったら幸いです。

※「つばさ」は県のホームページからもご覧いただけます

